

AIMS-ASEAN International **M**obility for **S**tudents

(ASEAN地域における国際学生交流事業)

AIMSプログラム・レビュー

2013年10月1日
三田共用会議所(東京)



DR. AISHAH ABU BAKAR
マレーシア教育省高等教育局



プログラム・レビュー

- 実施回数 – 年2回
- 第5回レビューミーティングは2013年5月9日～10日にインドネシアのジョグジャカルタで開催
- 内容
 - プログラムの進捗について: 各国の最新状況
 - 新たな展開: 支援の仕組み、ベスト・プラクティスの共有
 - 分科会、国際連携オフィス(IRO)フォーカスグループ・ディスカッション、各国省庁出席者によるフォーカスグループ・ディスカッション



AIMSの参加国

マレーシア、インドネシア、タイ、ベトナム

新規参加国

ブルネイ、フィリピン



交流分野

ホスピタリティ・観光、農業、言語・文化、国際ビジネス、
食品科学技術

追加された分野

工学・経済学



国別の参加機関数

マレーシア:	7
インドネシア:	12
タイ:	7
ベトナム:	10
ブルネイ:	1~2
フィリピン:	?



マレーシア(7機関)

大学	交流分野
マレーシア国民大学	国際ビジネス
マラヤ大学	国際ビジネス、言語・文化
マレーシア・プトラ大学	農業、国際ビジネス、 ホスピタリティ・観光
マレーシア科学大学	国際ビジネス、言語・文化
マレーシア工科大学	言語・文化、工学
マラ工科大学	ホスピタリティ・観光、国際ビジネス、 食料科学技術
ウタラマレーシア大学	経済学

インドネシア(12機関)

大学	交流分野	大学	交流分野
アフマド・ ダーラン大学	言語・文化	インドネシア芸術 大学デンパサール校	言語・文化
ビナヌサンタラ (BINUS)大学	国際ビジネス、 ホスピタリティ・観光	インドネシア芸術 大学スラカルタ校	言語・文化
ボゴール 農科大学	食料科学技術	セベラスマレット 大学	農業
マラナタ キリスト教大学	言語・文化	スリウィジャヤ 大学	農業
ガジャマダ大学	農業、経済学	インドネシア 教育大学	ホスピタリティ・ 観光
インドネシア 大学	国際ビジネス	バンドン 工科大学	工学

参加高等教育機関

タイ(7大学)

大学	交流分野
チュラロンコーン大学	言語・文化、経済学
カセサート大学	農業
マヒドン大学	国際ビジネス
メーファールアン大学	食料科学技術
プリンス・オブ・ソンクラ大学	ホスピタリティ・観光
タマサート大学	言語・文化、経済学
キングモンクット工科大学トンブリ校	工学

ベトナム(10大学)

大学	交流分野	大学	交流分野
貿易大学	国際ビジネス	ハノイ貿易大学	国際ビジネス
ホンラン大学	食料科学技術	ベトナム 海事大学	経済学
フエ大学	経済学	交通通信大学	工学
国民経済大学	経済学	水資源大学	工学
タイ・グエン 工科大学	工学	ハノイ農業大学	農業、経済学

ブルネイ(1機関)

- ブルネイ・ダルサラーム大学

フィリピン



サーティファイケート

第4回AIMSプログラム・レビューミーティングで合意。

第7回東南アジア高等教育次官・局長級会合で報告。



拡大

東南アジアの未参加国について

- 柔軟性および支援
- 参加国の追加

文部科学省(日本)からの提案

- 2009年にJ-M-I-T案(日本・マレーシア・インドネシア・タイ)※を作成
- 2010年のM-I-T会合でM-I-T学生交流支援事業の中国、日本、韓国への拡大を求める政策提言を提出
- 文部科学省によるプレゼンテーション

※ 訳注: 「M-I-T学生交流支援事業」とは、2010年のAIMSプログラム発足当時の名称である。発足時のマレーシア・インドネシア・タイの3か国の国名頭文字を取って、「MIT学生交流プログラム」と名付けられた。

AIMSにおける支援の仕組み



AIMSウェブサイト(基本情報)

項目	基本情報
参加国	担当窓口
	カンントリーレポート、最新状況 (ニュース、政策情報)
参加高等教育機関	機関情報
	国際連携オフィスの問合せ先
交流分野	プログラム、シラバス、問合せ先
	最新情報
学生	在学生(経験共有の場)
	卒業生

AIMSウェブサイト(グループワークからの提案)

項目	要追加情報
参加国	
参加高等教育機関	
交流分野	
学生	
...	
...	
...	



単位互換制度

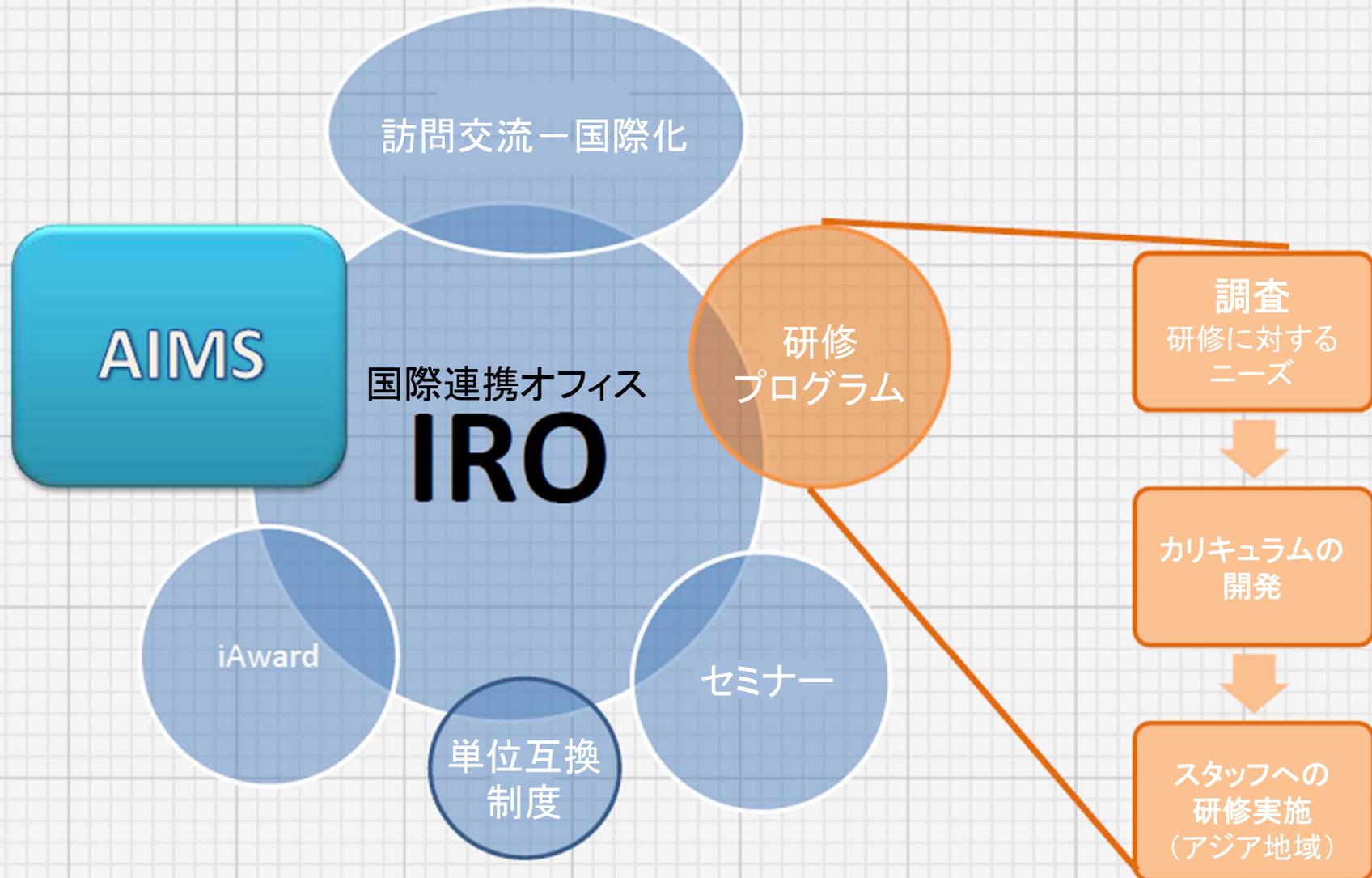


AIMSプログラム・ハンドブック



国際連携オフィス(IRO)向け研修

支援の仕組み



高等教育機関グループ

1. 次セメスターおよび次年度の学生交流の計画・準備（特に、新規のパートナー校に焦点をあてる）
2. AIMSサーティフィケートを広めるための実用的手段の提案。その手段は効率的で、真正性と情報の編集を可能とする
3. ウェブベースの情報共有・管理に関する機能の提案。

各国省庁出席者グループおよびSEAMEO-RIHED

1. AIMSプログラムへの新規国の参加に関する政策・運営上の事項
2. 次回レビューミーティングで取り上げるテーマに関する予備協議

質保証とモビリティ

- 参加大学／プログラムの選択
- スタンドアード分野／プログラム
- アクレディテーションー専門的／非専門的学術プログラム
- 総合的な学習経験ー教授・学習、設備、文化・地域貢献、サービス
- アセスメントー最終成果物よりもむしろプロセスを評価する必要性。具体的には、交流プログラムが目指す学生の特性を発展させること(自信、コミュニケーション、倫理、態度、チームワークなど)ー省察ログ(リフレクティブ・ログ)、セミナー、メンタリングシステムなど
- モニタリングの仕組み

謝

ありがとうございました